

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	136705
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	P T A 連合会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金				
				<input type="radio"/>	(6)その他				
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による								
	関市P T A連合会								
③支出先	関市P T A連合会								
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象	市内小中学校の保護者及び教職員						に対して	
	手段	研究大会や研修会等						を行うことで	
	受益者	市内小中学生の保護者及び教職員						が(を)	
	意図	活動情報の交流や資質向上の機会を提供する						という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 25 年度					
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1 人	あたり	180 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	550	550	550	550	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	2,853 千円		R1歳出決算額	2,655 千円		翌年度繰越額	198 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			19.3 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	136740
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市科学作品展		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
②支出の根拠	決裁による						
③支出先	関市児童生徒科学作品展実行委員会						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市児童生徒科学作品展実行委員会				に対して	
	手段	関市科学作品展				を行うことで	
	受益者	市内児童生徒				が(を)	
	意図	科学に興味を持ち、探求する楽しさを味わう学習機会を与える				という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 9 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	250	200	150	0	単価を定めている→算式			
					定額補助・負担	<input type="radio"/>	その他 ()	
②過去における見直し状況	H21年度から負担率の50%を切るように見直した							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	293 千円		R1歳出決算額	293 千円		翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			51.2 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	なし	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input checked="" type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和2年度から実行委員会を廃止し、課の事業として予算化した。このため、補助金は廃止となる。					

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	136760
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	寺子屋		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市内28小中学校共生学校づくり推進会議				に対して
	手段	地域指導者を学校に招いて郷土学習				を行うことで
	受益者	寺子屋事業参加校の児童生徒				が(を)
	意図	地域の自然・文化や生き方を学び、知的好奇心を刺激し、探究心や創造性を育み、郷土に誇りをもち地域に貢献できる子ども				という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 24 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	負担なし			負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,800	2,800	5,517	5,600	単価を定めている→算式	
					○	定額補助・負担
②過去における見直し状況	平成30年度に限度額を増額。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	5,517 千円	R1歳出決算額	5,517 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			100.0 %	決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	全28校の参加を継続する
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成	更なる人材活用と内容を増やしていく
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	事業実施ができなくなる	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	全28校の参加を継続し、更なる人材活用と内容の充実を進めていく。			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	全国連合小学校長会研究協議会参加		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	決裁による				
③支出先	関市小学校長会				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市小学校長会		に対して	
	手段	研究協議会参加費の一部補助		を行うことで	
	受益者	関市小学校長会		が(を)	
	意図	研究協議会への積極的な参加による情報の共有及び資質の向上		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 10 月 17 日 ~ R 2 年 10 月 18 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	16	8	8	16	○単価を定めている→算式	8,000円/人
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	8千円	R1歳出決算額	8千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	東海北陸地区連合小学校長会研究協議会参加		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 決裁による			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 関市小学校長会			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市小学校長会			に対して	
	手段	研究協議会参加費の一部補助			を行うことで	
	受益者	関市小学校長会			が(を)	
	意図	研究協議会への積極的な参加による情報の共有及び資質の向上			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 10 月 10 日 ~ R 2 年 10 月 11 日		補助・負担開始年度	昭和 50 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○	主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	18	18	24	24	○単価を定めている→算式	6,000円/人
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	24千円		R1歳出決算額	24千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	○	決算額を把握していない	
③翌年度繰越額						0千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	へき地複式教育振興会		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
②支出の根拠	決裁による						
③支出先	関市へき地複式教育振興会						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市へき地複式教育振興会				に対して	
	手段	へき地複式教育の実践交流				を行うことで	
	受益者	関市へき地複式教育振興会				が(を)	
	意図	指導力の向上、へき地複式教育の振興				という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 17 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	70	70	70	70	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ()
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	70 千円		R1歳出決算額	70 千円		翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137010
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	特色ある学校経営（小学校）		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	決裁による				
③支出先	関市立小学校経営研究会				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市立小学校経営研究会			に対して
	手段	歴史・文化・自然等地域性を基盤とする教育活動費の一部補助			を行うことで
	受益者	関市立小学校			が(を)
	意図	特色ある学校経営を行う			という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 5 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績（見込み） 【DO】

①補助・負担金の額（千円）	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	3,800	5,700	5,660	5,700	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	○その他（限度額内査定あり）
②過去における見直し状況	学校規模により補助額を算出していたが、平成22年度より限度額（一律）内で査定を行い交付額を決定する方式に変更 平成23、25、27年度に限度額を減額。平成30年度に限度額を増額。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	5,660千円	R1歳出決算額	5,660千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137100
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	研究指定校（小学校）		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	決裁による				
③支出先	関市立小学校研究指定推進部会				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市立小学校研究指定推進部会			に対して
	手段	研究指定し、公表会等による研究成果の共有			を行うことで
	受益者	関市立小学校			が(を)
	意図	指導力の向上			という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 19 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績（見込み） 【DO】

①補助・負担金の額（千円）	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	500	500	400	450	○単価を定めている→算式	<small>研究指定校 発表校150,000円、研究・開発校50,000円、学力向上指定校 発表校100,000円、研究校50,000円</small>	
②過去における見直し状況	平成28年に補助金単価の見直し。研究指定校 発表校150,000円、研究・開発校50,000円。学力向上指定校 発表校100,000円、研究校50,000円とした。					定額補助・負担	その他 ()
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	400 千円	R1歳出決算額	400 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	進路指導		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市中学校進路指導部会				に対して
	手段	進路についての情報収集等のための経費の補助				を行うことで
	受益者	関市立中学校				が(を)
	意図	適切な進路指導を行う				という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	昭和 40 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし			負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	795	797	741	763	○	単価を定めている→算式 <small>規模による均等割+生徒数×300円</small>
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	H21年度のみ補助金額から旅費分を引き上げ					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	741 千円		R1歳出決算額	741 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %		翌年度繰越額 0 千円	
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	全国中学校長会研究協議会参加		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	決裁による				
③支出先	関市中学校長会				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市中学校長会		に対して	
	手段	研究協議会参加費の一部補助		を行うことで	
	受益者	関市中学校長会		が(を)	
	意図	研究協議会への積極的な参加による情報の共有及び資質の向上		という状態にする	
⑥期間	R 2 年 10 月 23 日 ~ R 2 年 10 月 25 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課	○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	7	7	7	7	○単価を定めている→算式	6,500円/人
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	7千円	R1歳出決算額	7千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137600
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	東海北陸地区中学校長会研究協議会参加		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市中学校長会			に対して	
	手段	研究協議会参加費の一部補助			を行うことで	
	受益者	関市中学校長会			が(を)	
	意図	研究協議会への積極的な参加による情報の共有及び資質の向上			という状態にする	
⑥期間	R 2 年 7 月 4 日 ~ R 2 年 7 月 5 日		補助・負担開始年度	昭和	50	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし			負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	24	24	24	24	○単価を定めている→算式	8,000円/人	
					定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	24千円		R1歳出決算額	24千円		
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %		○決算額を把握していない		
R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %		○決算額を把握していない		翌年度繰越額	0千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続		2補助・負担内容を見直す		3縮小・減額を検討
		4統合を検討		5終期を設定		6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137610
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	特色ある学校経営（中学校）		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市立中学校経営研究会			に対して	
	手段	歴史・文化・自然等地域性を基盤とする教育活動費の一部補助			を行うことで	
	受益者	関市立中学校			が(を)	
	意図	特色ある学校経営を行う			という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 5 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績（見込み） 【DO】

①補助・負担金の額（千円）	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,780	2,700	2,700	2,700	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	○その他（限度額内査定あり）
②過去における見直し状況	学校規模により補助額を算出していたが、平成22年度より限度額（一律）内で査定を行い交付額を決定する方式に変更 平成23, 25, 27年度に限度額を減額。平成30年度に限度額を増額。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	2,700千円	R1歳出決算額	2,700千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137630
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	スポーツ生徒選手団派遣		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市中学校体育連盟				に対して
	手段	東海大会、全国大会に出場する選手の経費の一部補助				を行うことで
	受益者	出場する生徒				が(を)
	意図	負担を軽減する				という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	昭和 63 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし			負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	○補助・負担率を定めている→補助率	1/2
	415	251	213	792	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	545 千円		R1歳出決算額	545 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		39.1 %	翌年度繰越額		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)				

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	137700
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	研究指定校（中学校）		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市立中学校研究指定推進部会				に対して
	手段	研究指定し、公表会等による研究成果の共有				を行うことで
	受益者	関市立中学校				が(を)
	意図	指導力の向上				という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	平成 19 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	○負担なし			負担あり	負担額	あたり 円

2 実績（見込み） 【DO】

①補助・負担金の額（千円）	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	200	250	300	200	○単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	平成28年度より研究指定校数および内容の見直し。研究指定校 発表校150,000円、研究・開発校50,000。学力向上指定校 発表校100,000円、研究校50,000円とした。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	300 千円		R1歳出決算額	300 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	翌年度繰越額 0 千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)				

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	143450
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	中学校体育連盟		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
②支出の根拠	決裁による						
③支出先	関市中学校体育連盟						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市中学校体育連盟				に対して	
	手段	関市中学校夏季総合大会、美濃地区、県大会参加の一部補助				を行うことで	
	受益者	関市立中学校				が(を)	
	意図	部活動等の充実強化、生徒の健全な育成				という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 30 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,831	1,877	1,844	1,875	<input type="radio"/>	単価を定めている→算式 710円/人
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	2,216 千円	R1歳出決算額	2,196 千円	翌年度繰越額	20 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		83.2 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	学校教育課	室・部・局	教育委員会	予算事業コード	143450
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市学校保健会		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金				
				<input type="radio"/>	(6)その他				
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象	関市学校保健会						に対して	
	手段	学校保健の普及、充実のための活動の補助						を行うことで	
	受益者	関市学校保健会						が(を)	
	意図	児童生徒の健康を増進する						という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 38 年度					
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	一人あたり		20	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	303	251	247	244	<input type="radio"/>	単価を定めている→算式	27円/人	
						<input type="checkbox"/>	定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	平成22年度より単価7円増、平成22年度のみ開催地負担金30,000円上乘、平成23年度より児童健康教室事業補助と統合							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	554 千円		R1歳出決算額	447 千円		翌年度繰越額	107 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		44.6 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						